

シンポジウム1（技術部会企画）SY1-1 高気圧酸素治療におけるスペシャリストの育成について考える

増田 徹 甲斐雄多郎 山田小綸 壽山晴斗
灘吉進也
社会医療法人共愛会 戸畠共立病院 臨床工学科

【背景】

2024年の日本臨床工学技士会の調査では、HBOに専従している技士はわずか2%に過ぎず（図1），大半が他業務との兼任であるという実態が明らかとなった。さらに、臨床工学技士（CE）の教育課程からHBOの臨床実習が削除され、学生がHBOに触れる機会が著しく減少している。この影響により、HBOに関心を持つ若手技士の減少が顕著となっており、スペシャリストの減少につながることが予想される。こうした状況は、治療の質や安全性の低下につながる恐れがあり、早急な対応が求められている。

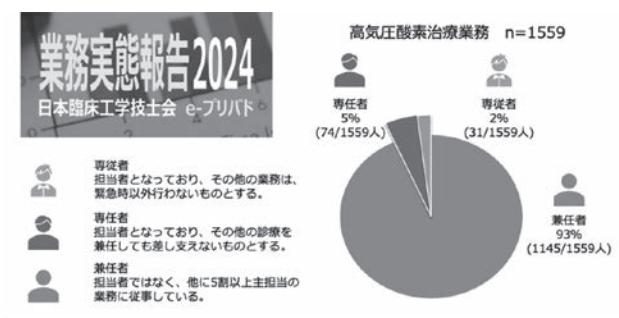


図1：2024年臨床工学技士業務実態調査

【目的】

本稿ではHBOにおけるスペシャリストの定義を明確にし、当院が取り組んできたスペシャリスト育成のための体系的教育体制を紹介する。そのうえで、HBO分野の持続的な発展と医療の質向上に向けた今後の課題と展望について考察することを目的とする。

【内容】

当院では2008年の新病院移転を機に、がん治療センターの開設とともにHBOの専門性を強化し、ローテーション制から固定制への転換を図った。スペシャリスト育成のために、以下のような多角的な教育体制を構築している（図2）。

1. 教育計画表：教育計画表を用いることにより、教育の属人化を防ぐ。
2. ロールプレイ研修：実際の状況を模擬的に再現する訓練を毎月実施し、移乗や緊急対応など実践的なスキルを磨いている。

3. 学会発表の奨励：若手スタッフの早期学術活動参加を促進し、全国学会での発表や院内学術大会を実施している。
4. 教育担当制度（バディシステム）：教育を終えた若手と指導者がペアを組み、実務を通じた教育と継続的な学びを実現している。
5. 資格取得：高気圧酸素治療専門技師の取得を推進する。

当院の教育計画



図2：当院の教育計画

【考察】

スペシャリストとは「特定領域に深い専門性を持ち、高い成果を出せる人材」とされる。当院の取り組みでは、単なる知識や技術の習得にとどまらず、継続的な経験と教育により、責任感や帰属意識の醸成にも寄与している。また、業務の固定化により、専門性の蓄積と業務の質向上が同時に達成されている。今後はさらに、10年スパンでエキスパートを育てる取り組みも視野に入れ、HBO分野全体の水準向上に貢献していきたい。